

安全運転 2025 11

No. 634

発行所・発行人 岡山県安全運転管理者協議会連合会
岡山県運行管理者協議会連合会

〒709-2192 岡山市北区御津中山444-3
岡山県運転免許センター 安全運転学校内 TEL (086) 724-4363
定価1部77円(但し、会員の購読料は、会費に含めて徴収)

薄暮時(夕暮れ時)や 夜間の運転は危険がいっぱい

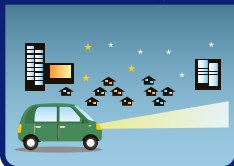
秋から冬にかけてのこの期間は、日没が早くなるため、例年、薄暮時から夜間に発生する交通事故が増加する傾向にあります。特に、車と道路横断中の歩行者が衝突する交通事故が多く発生しているので、ドライバーの方はもちろん、歩行者の方も十分注意し、薄暮時・夜間の交通事故を防ぎましょう。

薄暮時・夜間の 交通事故防止

①薄暮時、早めの
ライト点灯



②前車・対向車がないときの
ハイビーム励行



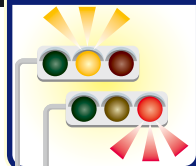
③薄暮時・夜間の
スピードダウン



④歩行者・自転車に
注意しよう



⑤信号の遵守



令和7年度
安管・運管交通安全スローガン

「大丈夫」油断が招く「一大事」

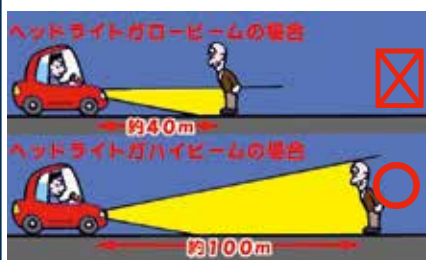
薄暮時・夜間の交通事故防止

日没も早まり、薄暗い時間帯から夜間の交通事故発生リスクが高まっています。また、こうした時間帯は視界が悪いうえ、夜間から早朝にかけては交通量も少ないことから、車・自転車・歩行者を問わず油断して、危険を見落とすおそれがあります。

ちょっとした油断や不注意によって交通事故を起こさないよう、そして交通事故に遭わないよう次のことに注意しましょう。

① 薄暮時の早めのライト点灯

薄暮時には、「まだ見える」と思って無灯火で運転する運転者も見られます。**早めにライトを点灯**することで、危険を早期に見ただけでなく、他のドライバーや歩行者・自転車に対して、自車の存在を知らせましょう。



② 対向車・前車がないときのハイビームの活用

自動車の前照灯の照射距離は、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に、
○ 走行用前照灯（ハイビーム）で前方100メートル、
○ すれ違い用前照灯（ロービーム）で前方40メートルと定められています。

対向車と前車があるとき以外は、前方100メートルの距離の交通上の障害物を確認できる性能を有する走行用ビーム（ハイビーム）で走行しましょう。

③ 薄暮時・夜間のスピードダウン

薄暮時や夜間は、昼間と比べ視界が悪くなるため、歩行者や自転車の発見も遅れる上、速度感覚が鈍り、速度超過になりがちとなるため、**昼間より速度を落として慎重に運転**しましょう。
また、車間距離は昼間より長めにとりましょう。



④ 歩行者・自転車に要注意

薄暮時や夜間は、歩行者や自転車が見えにくくなる時間帯です。横断歩道等以外の道路を横断する歩行者や自転車があることを認識し、視線は、できるだけ先の方に向け、少しでも早く前方の障害物を見するようにしましょう。

また、自転車はライトを点灯し、歩行者や自転車も明るい色の服装や夜光反射材を着用し、自分の存在をしっかりとアピールしましょう。

⑤ 信号の厳守

夜間は、点滅信号に切り替わる交差点があります。道路交通法上の信号機の意味として、

- 黄色の点滅信号は、歩行者・遠隔操作型小型車（以下「歩行者等」という。）及び車両・路面電車（以下「車両等」という。）は、他の交通に注意して進行することができる。
- 赤色の点滅信号は、歩行者等は、他の交通に注意して進行することができる。車両等は、停止位置において一時停止しなければならない。と規定されています。

信号機の表示する意味を理解し、夜間、交通量が少なくても確実に信号を守り、安全確認を怠らないよう注意しましょう。



特集⑧ 道路交通法の基礎知識 (～生活道路の法定速度の見直し、ゾーン30プラス、ゾーン30～)

○ 生活道路における交通事故発生状況

- ① 全国における人身交通事故発生件数は10年前と比較し、減少傾向にあるものの全人身交通事故発生件数のうち、車道幅員5.5m未満の道路における人身交通事故発生件数を占める割合は、横ばいで推移しています。
- ② 令和6年中における状態別の交通事故死傷者数をみると、車道幅員5.5m未満の道路における歩行中・自転車乗用中の死傷者が占める割合は、車道幅員5.5m以上の道路の約1.9倍でした。

○ 生活道路における交通事故防止対策

狭隘な道路については、歩道と車道の区別がないことが多く、また、自動車同士のすれ違いの際に事故が発生する可能性もあり、自動車を高速度で通行させた場合には、交通の危険が生じることが大きいことから、自動車が通行する際の速度を抑制する必要があるため、生活道路におけるゾーン対策として、「ゾーン30」、「ゾーン30プラス」といった区域規制による速度抑制対策を実施しています。

今後も継続的な安全対策が必要ですが、最高速度規制の30km/hを全国的に増加することは現実的でないとして、道路交通法施行令等の改正により、令和8年9月1日から生活道路の法定速度を60km/hから30km/hに引き下げることが予定されています。

ゾーン30

「ゾーン30」とは、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて、警察(公安委員会)による最高速度30km/hの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。



ゾーン30プラス

「ゾーン30プラス」とは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の更なる整備を図るため、最高速度30km/hの区域規制のほか、交通実態に応じて区域内の大型通行禁止、一方通行等の各種交通規制を実施するとともに、ハンプ(道路の盛り上がり)や狭さく、スムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせ、交通安全の向上を図るもの。

岡山県では、「津山市北町～北園町の区域」が実施予定となっています。

津山市内での具体的な内容は、警察(公安委員会)による「最高速度30km/hの区域規制」、道路管理者による「スムーズ横断歩道」、「歩道の拡幅」、「防護柵」、「カラー舗装」となっています。



「ゾーン30プラス」の路面表示・看板

生活道路の法定の最高速度の改正

令和8年9月1日施行の道路交通法施行令等の法定速度の改正は、中央線、車両通行帯、中央帯等が設けられていない道路を通行する際の法定速度(道路標識又は道路標示による最高速度が指定されていない道路における最高速度)を60km/hから30km/hに引き下げることとされています。

【60km/hの法定速度が維持される道路の例】

- ・高速自動車国道のうち、本線車道並びにこれに接する加速車線及び減速車線以外のもの
- ・自動車専用道
- ・道路標識等による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路
- ・道路の構造上又は柵等により自動車の通行が往復の方向別に分離されている一般道路

【法定速度が30km/hに引き下げられる道路】

- ・中央線、車両通行帯、中央帯等のいずれもが設けられていない一般道路



安全アソシイ

薄暮・夜間の交通事故防止

日が暮れるのが早くなりました。

退社時にはもう暗くなります。早めのライト点灯を励行しよう。

積極的にハイビームに!

歩行者や自転車が見えにくくなります。早期発見と事故防止に努めましょう。

歩行者や自転車も反射材やLEDライトを着用しましょう。

危険予知訓練を実施しよう

交通場面のイラストに基づいて、いくつかの危険を指摘してみましょう。

深夜、黄色点滅信号の交差点の注意点

★状況

- ・深夜、車にも人にも出会わない道路を走行し、黄色点滅の信号交差点にさしかかりました。
- ・交差点の左からヘッドライトの光が見えています。あなたは、このまま直進しようとしています。

Q1 どのような危険がありますか?

Q2 どのような運転をしますか?

※解答は6ページに掲載します。

安全運転・運行管理者選任事業所の人身交通事故 令和7年9月末現在(暫定数値)

区 分		人身事故件数	死 者 数	負傷者数		
				重 傷	軽 傷	計
県下の全事故	令和7年	3,447	31	447	3,531	3,978
	令和6年	3,511	40	422	3,539	3,961
	増減数	-64	-9	25	-8	17
	増減率	-1.8%	-22.5%	5.9%	-0.2%	0.4%
安管事故	令和7年	302	2	32	316	348
	令和6年	254	4	24	254	278
	増減数	48	-2	8	62	70
	増減率	18.9%	-50.0%	33.3%	24.4%	25.2%
運管事故	令和7年	98	4	15	102	117
	令和6年	114	2	13	108	121
	増減数	-16	2	2	-6	-4
	増減率	-14.0%	100.0%	15.4%	-5.6%	-3.3%

※ 人身事故件数は、選任事業所が第1当事者となった事故の件数をいう。
※ 死者数・負傷者数は、その事故によって死傷した人数をいう。

あがな 贖いの日々

殺意なき殺人

会社員(40代)

TVのニュースによく流れている自動車事故、毎日出勤する度によく聞くありふれた悲報。ニュースキャスターは悲痛な声色で事故の悲惨な状況を語り、それを当たり前のように他人事として聞き流し、私には関係のない話、そう思っていた私は今、市原刑務所に服役しています。事故当日の日はいつもと変わらないう、変わろうとしている兆しすら判らない1日の始まりでした。当時、私は海外からの休暇の為に帰国し、数か月前から約束していた会社の同僚との久々の再会を兼ねドライブがてら車を走らせ、近場ではなく遠場の地で地魚でも食べようかと行き先を決めることもなく出発しました。

車内では会社の噂話、海外赴任先の情報、知人の結婚話、話は尽きることなく車は前に進み、いつも通りだと「疑うこともなく」私は事故の兆しを着々と作り上げていきました。車を走らせてから約40分、高速道路に入ってから私も私と同僚は止まることなく喋り続け、会話を気取られ漫然と運転していたところ、ふと視界の隅に何かが入ってきたと思い

に外に救い出されパニックに陥っている状態でした。私は「今、救急車を呼んでいます。もうしばらく待って下さい。他にケガをされた方はいませんか?」と声を掛け、自身も落ち着かせるように現場を確認していると「〇〇がいないの、どこ?」と言われて横倒しになった車の中に目をやると、運転席に影がありました。急いで近づくと横倒しになり割れたガラスの破片と黒い液体が満ち溢れ、とても素人が簡単に動かせる状態ではないことは明らかでした。私は事故を起こしてから5年、この光景を一度たりとも忘れたことはありません。私の事故は法定速度に対し、常軌を逸脱したスピード180kmでトラックに衝突して、その衝撃で跳ね返った私の車がそのトラックの前方にいた軽乗用車の右後方から突き刺さる形で横転させてしまい、運転手の方を死亡させ、同乗者の方に大怪我をさせてしまうという、とても酷い事故を起こしてしまったのです。

事故後、運転手の方が搬送された病院に行き、ご両親からの怒り、罵倒を受けましたが、全ては私の漫然たる行為の結果であるため、「申し訳ありません」以外、返す言葉が思いつかずにいました。入院から9日後に運転手が亡くなられた一報を聞き、私は初めて「人を殺してしまった」と今まで感じたことのないショックを受けました。その後在宅起訴となり、自動車運転過失致傷罪により禁錮3年4月の実刑判決が言い渡され、今もお服役中です。今思い返しても、事故が起きたきっかけは「自分は絶対に事故を起こさない」という自分自身を過大評価することから始まる油断であり、その漫然たる行為は車を凶器に変え、殺人と何ら変わらないのだということとを反省し、今も刑務所で粛々と過しています。この手記を見て、自分だけは違うと思わず、車を運転する人皆のすぐ隣に事故は或ると考え、今の運転に対する意識を変える機会になればと願っています。

(注) 一般財団法人

東京都交通安全協会発行

「贖いの日々」
— 交通事故の悲劇を繰り返し
返さないために — から転載
無断転載を禁止します。

交通事故受刑者の手記

あがな
贖いの日々

YouTubeでも
配信しています

(作成者: 東京都交通安全協会)



●(参考) 令和7年6月1日から懲役・禁錮が廃止され拘禁刑が創設されました。

岡山中央安全運転管理者協議会・岡山中央運行管理者協議会の活動

書道家 柴倉梨乃氏が揮毫した交通安全懸垂幕の披露

9月21日(日)、岡山中央安全運転管理者協議会(会長 山吹文彦氏)と岡山中央運行管理者協議会(会長 安原秀二氏)は、岡山中央交通安全協会(会長 若林昭吾氏)らとともに、岡山中央警察署玄関及び正面駐車場において、「令和7年秋の交通安全市民運動開始式」として、

ファジアーノ岡山のポスター等でも揮毫している

書道家の柴倉梨乃氏が揮毫した懸垂幕

「みんなでつくる交通死亡事故0の街」

の除幕式を行い、岡山県警察音楽隊の演奏とともに、白バイ2台やパトカー3台による街頭活動出発式を行い、県民に広く広報したもの。(※懸垂幕は、交通安全運動が終了後も、引き続き掲示・広報中)



【懸垂幕の状況】

深夜、黄色点滅信号の交差点の注意点



Q1 どのような危険がありますか？

解答

- 交差点の左側から赤色点滅信号の手前で停止せず、交差点に自動車や二輪車がそのまま進入してくる。
- 深夜なので、交差点の左側からの車などは、居眠り運転や飲酒運転により点滅信号に気づかず交差点に進入する。
- 交差点の左側から車などがくると予測して、左側だけ注意していたところ、交差点の右側から無灯火の自転車や夜光反射材の着用のない歩行者が、左右の安全確認をしないまま交差点の横断歩道等付近を横断する。

Q2 どのような運転をしますか？

解答

- 人も車も通らない交通量の閑散な深夜・早朝は、特に危険です。
交差点道路の赤色点滅信号を無視して交差点に進入する車両や歩行者がいます。「こんな時間帯には、車や人などはいない」と思うことは、間違いです。
- 自分側が赤色点滅信号の場合は、たとえ深夜・早朝でも、必ず、停止位置で停止して安全を確認して進行しましょう。
自分側が黄色点滅信号の場合は、他の交通に注意して進行しましょう。
- このパターンで起きる交通事故は、死亡事故など大きな事故につながります。
交差点の左からのライトの光などの手掛かりがなくても、最悪の状況を想定し、危険を予測して減速の上、安全確認を行うなど慎重な運転をしましょう。

夜間・早朝時の交通量閑散な時間帯は、車だけでなく、二輪車や自転車も信号無視をして交差点に進入することがあります。たとえ自分側の対面信号が青色であっても、油断は禁物です。
信号無視をしてくる車両等があることも考慮して、速度を落して交差点の左右の安全確認をするなど危険を予測した運転をしましょう。

ここに気をつけよう

危険予知訓練を実施しよう(解答)

4ページに掲載した危険予知訓練の解答は次のとおりです。

備前安全運転管理者協議会・備前運行管理者協議会の活動

「交通事故死ゼロを目指す日」の啓発活動

9月30日(火)、備前安全運転管理者協議会(会長 神田英則氏) 5事業所と備前運行管理者協議会(会長 伊賀資耕氏) 4事業所は、備前警察署、関係機関団体らとともに、備前市西片上のマックスバリュ備前店駐車場において、令和7年秋の交通安全県民運動期間中の「交通事故死ゼロを目指す日」の活動として、県民一人一人が、交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に注意して行動するよう買い物にくる方を対象に、交通事故防止のチラシなどを配布し、広報啓発を行った。



【街頭啓発活動の参集状況】



【備前市 危機管理課
くらし安全係長との挨拶の状況】



【啓発活動の状況】

令和7年度 安全運転管理者選任事業所トップセミナーのご案内

岡山県警察と岡山県安全運転管理者協議会連合会の共催による「令和7年度 安全運転管理者選任事業所トップセミナー」の開催を予定しています。

このセミナーは、当協議会加盟事業所における交通安全意識の高揚と交通事故防止へのさらなる向上を図ることを目的に、協議会加盟の経営者や安全運転管理者等に受講料無料で、専門の部外講師による講演をご聴講していただくもので、下記のとおり予定していますので、ふるってご参加ください。

記

- 1 開催日 令和7年12月12日(金) 13時25分～16時40分まで
- 2 開催場所 岡山市北区御津中山444番地3
岡山県運転免許センター 4階 大会議室
- 3 受講料 無料
- 4 申し込み先・お問い合わせ先
〒709-2192 岡山市北区御津中山443-3 岡山県運転免許センター安全運転学校内
岡山県安全運転管理者協議会連合会、岡山県運行管理者協議会連合会事務局
電話番号・FAX番号 (086) 724-4363
Mail: okayama.ankan.unkan.rengoukai@gmail.com
上記申し込み先へのMail、FAX、または所轄の警察署交通課を通じての申し込み等
- 5 申し込み期限 **令和7年11月14日(金)まで** (※メールでの申し込みに限り、11月27日(木)まで)
- 6 開催内容
 - (1) 開校
 - ア 岡山県安全運転管理者協議会連合会会長の挨拶
 - イ 岡山県警察本部交通部交通企画課長の挨拶
 - (2) セミナー実施内容の説明
 - (3) 県下の交通事故発生状況等の説明
～岡山県警察本部交通部交通企画課課長補佐
 - (4) 講演
 - ア 演題 「高齢運転者の視覚機能低下と
ドライビング時のアイフレイル～眼科的予防介入の重要性～」
講師 医療法人 博温会 川島眼科 院長 川 島 幸 夫 氏
 - イ 演題 「アンガーマネジメント講座～イライラの連鎖から笑顔の連鎖へ～」
講師 アンガーマネジメントファシリテーター 中 村 恵 美 氏
(RSKのパーソナリティとしてラジオ出演)

【お知らせ】機関紙「安全運転」来月号から懸賞付き交通安全クイズを出題予定です。ご期待ください。

機関紙「安全運転」は今月号よりメール配信に移行します。

※ **郵送を順次廃止**しています。未登録の方は下記パソコン登録用URL
又はスマートフォン登録用QRコードによりメール登録してください。

★パソコンでの登録用URL <https://okym-ankan-unkan.gr.jp/regist/>

★スマートフォンでの登録用QRコード



ID: anzenunten

パスワード: driver

※ 岡山県安全運転管理者協議会連合会・岡山県運行管理者協議会連合会のホームページには、機関紙「安全運転」のバックナンバー、最新号が確認できます。

令和8年度 安管・運管 交通安全スローガン募集!

安全運転管理者選任事業所並びに運行管理者選任事業所の従業員の交通安全意識の高揚を図ることを目的に交通安全スローガンを募集します。今年も多数の応募をお待ちしております。

募集期間 令和7年7月1日から11月30日まで

募集部門 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの(自作、未発表のもの)
・運転マナーの向上 ・飲酒運転の根絶 ・シートベルト等着用率向上 ・交通秩序回復等
・横断歩道は歩行者優先 ・早めのライト点灯

応募資格 安全運転管理者選任事業所並びに運行管理者協議会選任事業所の従業員

応募方法 下記応募様式または、連合会ホームページから応募(右QRコード)



送り先・問い合わせ先 〒709-2192 岡山県岡山市北区御津中山444-3 岡山県運転免許センター安全運転学校内
岡山県安全運転管理者協議会連合会、岡山県運行管理者協議会連合会事務局
電話番号・FAX (086) 724-4363
Mail: okayama.ankan.unkan.rengoukai@gmail.com
※ Mail、FAX、郵送または所轄の警察署交通課経由で送付

発表 ・最優秀のスローガンは、機関紙「安全運転」の表紙下部に、令和8年4月から令和9年2月号まで掲載します。
・最優秀賞・優秀賞・安管特別賞・運管特別賞・佳作に入賞された方は、スローガン・事業所名・お名前を4月号の「安全運転」に公表させていただきます。
・入賞者のスローガンは、両連合会の交通安全活動などにおいて使用させて頂く場合がございます。

賞 ・最優秀賞 1点(5,000円分) ・優秀賞 2点(3,000円分) ・安管特別賞 1点(2,000円分)
・運管特別賞 1点(2,000円分) ・佳作 5点(1,000円分)
※最優秀賞・優秀賞には、賞状があります。副賞は商品券です。

参考 令和7年度安管・運管交通安全スローガン最優秀作品「大丈夫」油断が招く「一大事」

応募様式 ・応募作品多数の場合は、事業所名、事業所所在地、連絡先電話番号等必要事項をご記入の上、応募者の氏名、スローガンは、別紙に記載して応募をお願いします。

キ リ ト リ

【令和8年度 安管・運管交通安全スローガン応募用紙】

事業所名			
事業所所在地		〒	岡山県
		電話	
		担当者	
区分	応募者氏名	ス ロ ー ガ ン	
1			
2			
3			